



【速報】「危険な状態が続いている」キエフ全域に35時間の外出禁止令 キエフ市長

トップ 新型コロナ 速報 社会 政治 経済 国際 スポーツ エンタメ 特集 天気・防災

トップ > 国際 > 記事

# ウクライナ侵攻 背後の情報戦 (5) 「日本に核攻撃」のリアル

[2022/03/15 20:00]



ウクライナ侵攻でも存在感を示す中国。

アメリカでは既に、この事態から将来の「台湾有事」への教訓を見出そうという動きが出ている。ウクライナ侵攻の裏側で繰り広げられていた情報戦、シリーズ第5回は、「日本は今、何をなすべきか」、考える。

### ■ それでも「最大の脅威は中国」だ

3月9日、アメリカ下院軍事委員会の公聴会。

民主党のスミス委員長は開会のあいさつで「中国の極めて危険な好戦的姿勢を見ていれば、ロシアによるウクライナ侵攻と中国による台湾侵攻は重ね合わせて見ざるを得ない」と口火を切った。米インド太平洋軍司令部のアキリーノ司令官は、議員からウクライナ侵攻で中国が学んだ教訓は何だと思ふかと問い質されると遠回しな表現を使いながら、侵攻に伴うロシア軍の犠牲者数の多さ、国際社会の一致結束した抵抗と反対、国民にかかる経済的負担の3つを挙げた。この3つが台湾侵攻を検討する際の中国の戦略計算に影響を与える変数になり得ると、間接的に指摘した形だ。加えて中国による台湾侵攻を抑止するには強力なアメリカ軍部隊を前方展開させることが重要だとも述べている。

ウクライナ侵攻が起きてもなお、アメリカの脅威認識は変わらない、ということなのだろう。最大の脅威はロシアではなく中国である、と。

### ■ 7年以内に「米中の対決」という想定

この点、アメリカ海軍はウクライナ侵攻に関連して3月31日までに発表すべき時期だと捉えている

**プロバイダ契約でキャッシュ…徹底比較**

謀略の視点で見る太平洋戦争 NAKANU 「陸軍中野学校」の教え 福山 隆

JapaNews 24

※日本時間の午後4時から20〜30分ほど、一時的にストリームを停止する可能性があります。

RANKING アクセスランキング

- 1時間 24時間 1週間 1ヶ月
- 1 【速報】ポーランドなど3カ国首脳がキエフ訪問へ 2022/03/15 19:07
- 2 “ロシア支援”報道 何が起きている？ 中国の戦略を専門家に聞く 2022/03/15 17:46
- 3 ブーチン大統領は「嘘つきで戦犯」…“ロシア兵捕虜”の会見動画公開 2022/03/15 11:45
- 4 「ドライブ・マイ・カー」英アカデミー賞で受賞 2022/03/14 08:13
- 5 当のロシア兵、国営TV内からも“反戦・プーチン批判”の行動噴出 2022/03/15 18:59

もっと見る

KEYWORD キーワード

- ウクライナ オミクロン株
- 新型コロナウイルス バイデン政権
- 韓国 中国 ワクチン
- Google SDGs 5G
- サイバー攻撃 ソフトバンク

る」と踏み込んでいる。

これは事実上、アメリカ海軍は2020年代が終わるまでの間に、つまり今後7年以内に中国との対決があると想定して準備を進めている、と言っていることに等しい。

ケンダール空軍長官もまた同じ日に開かれたアメリカ空軍協会主催のイベントで「ウクライナ侵攻が起きたが、最大の差し迫った脅威は中国だ」とはからずも歩調を合わせている。

ウクライナ侵攻は世界の耳目を集めているが、アメリカが最も警戒の眼を注ぐ相手は全く変わっていない。主敵は中国である、と。

(ちなみにある欧州の外交官は筆者に対して、この強い経済制裁の背景には将来、中ロ2国の脅威に同時に対処しなければならなくなるリスクを軽減するために、アメリカが強力な経済制裁で最大限、今のうちにロシアを弱体化させておきたい狙いがあると解説している)。ウクライナ侵攻は台湾侵攻と無関係どころか、多くのインプリケーション(含意)が読み取れる、というのがアメリカの立場だ。むしろウクライナ侵攻から中国が何を学び、アメリカが何を学ぶべきか、という台湾有事を想定したリアルな検討を始めている。

■ 浮かび上がる「小型核」のリアル

その中でも重い課題が中国の核兵器、とりわけ小型核だ。

プーチン大統領が核戦力の警戒態勢を上げることを示唆する発言をして以来、アメリカでは小型核が使われる脅威が公然と議論されている。たとえばCNNの生出演時に連邦議員、軍事専門家、現場の記者などが、プーチン大統領が戦術核を使う可能性について驚くほどオープンかつ活発に議論している。その多くは可能性が低いが、可能性は確実に存在する、というものだ。

そして現役軍幹部からもー。

3月8日、上院軍事委員会に出席したアメリカ海軍所属のリチャード提督。アメリカの核戦力の運用を担当する戦略軍司令部のトップだ。リチャード司令官はあらゆる核戦争のシナリオに備えてきたことを強調するとともに、今回のウクライナ侵攻のような通常戦争における限定的な核攻撃に対応する訓練もしてきたと明らかにした。

ロシアが通常戦力での劣勢を挽回するために小型核を使う可能性を公の場であっさりとしたことには筆者は少々驚いたが、これが今のワシントンの空気だ。確率はともかく、可能性が少しでもあれば備えをする、ということなのだろう。

続けて同司令官は中国が核兵器を「息をのむほど拡張」させていると警鐘を鳴らしている。「毎日、中国が核兵器を使用する際の思考回路、判断基準について考えを巡らせている。我々がどう動けば、彼らが核の使用を思いとどまるだろうか」と、きわめて率直に中国の核の脅威と日々、向き合っていることを語っている。

■ 「日本に核攻撃」の現実味

台湾有事でも中国の小型核が使われるシナリオに備えるべき、だと指摘するのが、ワシントンDCにある大手保守系シンクタンク、ハドソン研究所の村野将研究員だ。核戦略を専門とする村野氏はアメリカの核戦略コミュニティに人脈を築いている数少ない日本人である。

アメリカ戦略軍やNATO軍司令部の幹部が参加して行われる対ロシア紛争をめぐる議論にも頻繁に参加している村野氏は「軍事合理性に基づいてプレイヤーがシミュレーションを重ねていくと、対ロシア紛争シナリオではポーランドに対するロシアによる核恫喝を受けて、西側は手詰まりに陥ってしまうことが少なくありません。この過程で選択を間違えると、ワルシャワは壊滅してしまいます」と指摘する。

ポーランドが狙われる理由は主に2つあるという。NATO軍が対ロシア作戦を展開するうえで部隊の集積、編成、補給、出撃の拠点となるのがポーランドであり、そこを叩く軍事的意味があること。

と。そして、2つ目は

**プロバイダ契約でキャッシュ…**

アの強い意志を伝え、

「対ロシア紛争での

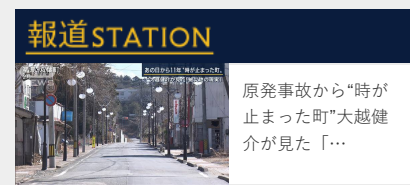
**徹底比較**

北朝鮮 スマートフォン

アップル



人をつなぐ 未来につなぐ SDGs



リンや専門家の議論をみると、通常戦争から核使用にエスカレートすることも排除できません」では台湾有事で中国の核攻撃のターゲットになるとすれば、どこか。

台湾だろうか？

「日本です。アメリカ軍の基地が集まる沖縄もそうですし、場合によっては横須賀、厚木の各基地を抱える首都圏も考えられます」。

ただ、まず最も懸念すべきことは核の使用を匂わせる「核の脅し」だと指摘する。

「在日米軍基地の使用を禁止させればアメリカ軍の動きを封じ込められますから、核の使用を匂わせて日本政府に対して中立宣言や在日米軍基地の不使用を宣言させようとするのが最も考えられるシナリオです。つまり、日米は核エスカレーションが常に起こりうるという“核の影”の下で、中国との通常戦争を戦わなければならない。この現実を直視する必要があります」。

ウクライナで起きた「まさか」が、台湾で起きない保証はない、ということなのか。

## ■ 日本が高めるべきは「安保利テラシー」

アメリカはすでにウクライナから将来の台湾有事に備えた教訓を学ぼうとしている。インテリジェンスを駆使しながら懸命に状況に対応しようとしていることもすでに記した通りだ。大国ロシアの攻撃を受けるウクライナもまた命がけで知恵をしぼって生き残ろうともがいている。

日本はどうか。

安全保障は日本人が苦手としてきた分野であることは間違いない。重箱の隅をつつくような法的解釈論や結論ありきのイデオロギー、“べき論”が大手をふり、時には現実からかけ離れた好き嫌いの感情論が先行するきらいもあった。

一方、世界の現実のはものすごいスピードで私たちの想定、想像を上回る展開を見せる。専制主義国家が決意すれば、いつウクライナ侵攻と同じ事態が東アジアで起きてもおかしくない、しかもそれを止める術はほとんどない。ウクライナ侵攻が教えてくれているのは、そうした厳しい現実であり、アメリカは冷静にそれを織り込みながら動き出している。

感情論でも単なる法律論でも、無批判なアメリカ追従でもない、世界のリアルに対応できる安全保障のリテラシーを高めていけるか。

日本がウクライナ危機から学ぶことはあり過ぎるほど、ある。

なぜなら、明日は我が身、だからだ。 (了)

ANN ワシントン支局長 布施哲 (テレビ朝日)

テレビ朝日政治部記者などを経て現職。防衛大学校大学院卒業 (安全保障学修士)、フルブライト奨学生として米軍事シンクタンクCSBAで客員研究員。主な著書に『先端技術と米中戦略競争』など。

画像：14日 攻撃されたキエフの住宅からの救助活動 (ウクライナ非常事態省のツイッターから)

- ▶ウクライナ侵攻 背後の情報戦 (1) アメリカが見せたインテリジェンスの威力
- ▶ウクライナ侵攻 背後の情報戦 (2) 特殊作戦関係者が解剖する軍事インテリジェンス
- ▶ウクライナ侵攻 背後の情報戦 (3) ロシア軍の停滞のワケを読み解く
- ▶ウクライナ侵攻 背後の情報戦 (4) 中国の“裏切り”と「台湾有事」

## 関連ニュース



首都キエフをキーウに 自民  
「ウクライナ語表記を」  
[2022/03/15 18:45]



「ウクライナ侵略の動きと呼  
応」ロシア軍の活動活発化に岸  
大臣が懸念  
[2022/03/15 15:43]

プロバイダ契約でキャッシュ…

徹底比較



スマホでニュースを  
見るなら！  
テレ朝newsアプリ



ウクライナ避難者に「物件」「雇用」提供…日本企業で広がる“支援の輪”  
[2022/03/15 12:25]

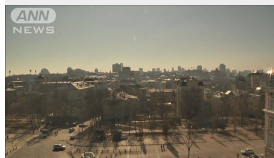


「祖国に戻る」避難所から戦地へ…ウクライナ避難者は280万人超  
[2022/03/15 12:07]



ウクライナ支援の自衛隊装備品を米軍機で輸送へ  
[2022/03/15 11:54]

## Headline 注目ニュース



【速報】キエフ全域に35時間の外出禁止令  
[2022/03/15 21:15]



【速報】ウクライナとロシアの停戦協議が再開  
[2022/03/15 20:46]



停戦交渉の行方は 日夜攻撃に怯え「もう耐えられない」  
[2022/03/15 18:32]



当のロシア兵、国営TV内からも“反戦・プーチン批判”の行動噴出  
[2022/03/15 18:59]



侵攻20日目 民間人の犠牲、インフラ破壊止まず 避難は280万人以上に  
[2022/03/15 18:47]



ロシア国内に変化？ 生放送中に「戦争反対」、乱入前にSNS投稿も  
[2022/03/15 17:34]

## PICK UP オススメ

[一覧へ >](#)



「祖国に戻る」避難所から戦地へ…ウクライナ避難者は280万人超



首都キエフや西部に空爆 南部では「市長拉致」相次ぎ…親ロシア派の“新市長”誕生



中古着物がデニムに変身！コロナ影響で買い取り増加

## こんな記事も読まれています

『妖怪シェアハウス-帰ってきたん怪-』ポスタービジュアルお…  
(テレ朝POST)

“桃太郎”をモチーフにした新ヒーロー誕生！『暴太郎戦隊ドンブ…  
(テレ朝POST)

松岡茉優、北海道・旭川の仰天グルメを美食！納豆にある調味…  
(テレ朝POST)

なぜコンビニでは現金で支払うべきでないのか？その理由を知っ…  
AD (株式会社ウェブサポート on クレカNAVI)

笑い飯の“M-1伝説”。9

もう聞き返さない！会

プロバイダ契約でキャッシュ…徹底比較

## **ANN** ネットワーク

- > 北海道テレビ放送 > 青森朝日放送 > 岩手朝日テレビ > 東日本放送 > 秋田朝日放送 > 山形テレビ > 福島放送 > 新潟テレビ21
- > 長野朝日放送 > 静岡朝日テレビ > 北陸朝日放送 > 福井放送 > 名古屋テレビ放送 > 朝日放送テレビ > 広島ホームテレビ
- > 山口朝日放送 > 瀬戸内海放送 > 愛媛朝日テレビ > 九州朝日放送 > 長崎文化放送 > 熊本朝日放送 > 大分朝日放送 > テレビ宮崎
- > 鹿児島放送 > 琉球朝日放送

- > 運営会社 > 個人情報等について > お問い合わせ

Copyright© tv asahi All rights reserved.

プロバイダ契約でキャッシュ…  
徹底比較

